



川鶴酒造株式会社様の『SDGs 宣言』策定を支援しました！

～お客さまのSDGsに関する取組みをトータルサポート～

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）が実施する「百十四SDGs取組支援サービス」を通じて、観音寺東部支店取引先 川鶴酒造株式会社（観音寺市本大町 代表取締役 川人 裕一郎）が『SDGs宣言』を策定されましたのでお知らせします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまのSDGsへの取組みを支援してまいります。

記

○企業概要

会社名	川鶴酒造株式会社
所在地	香川県観音寺市本大町 836 番地
代表者	川人 裕一郎
業種	清酒製造業

※川鶴酒造株式会社の「SDGs 宣言」および「百十四 SDGs 取組支援サービス」の概要については、別紙をご参照ください。

以上



川鶴酒造株式会社 SDGs宣言



当社は、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年4月15日

川鶴酒造株式会社

代表取締役 川人 裕一郎

SDGsの達成に向けた取り組み

酒造りの承継と革新

明治24年の創業から、地元観音寺の地ならではの食文化や恵まれた自然環境とともに、伝統の酒造りを承継してまいりました。これからも、自蔵栽培米や地域の生産者が丹精込めて育てた酒米と、財田川の清らかな伏流水とともに、地域の風土に寄り添いながら不易流行をモットーに酒造りを続けてまいります。



清流に感謝しつつ

酒造りにおいて命とも言える「水」。当蔵の酒は、財田川の伏流水によって清浄無垢な味わいが実現します。清流の保全をはじめ、周辺地域の環境美化を地域と綿密に連携しながら今後も力を注いでまいります。また、業界全体での瓶の3R推進を通じ、環境にやさしい酒造りを続けていきます。



チーム川鶴とは

酒造りは職人技というイメージが強いですが、当蔵では研修やジョブローテーションに力を入れ、技術の伝承はもとより、「人財」育成や働き方改革に取り組んでいます。酒造りの一丁目一番地は人づくりからと考え、生き甲斐や目標を持って働ける「蔵づくり」に励んでまいります。



酒造りは地域づくり

川鶴の酒はいつも讃岐の土地とともにあります。蔵開きを通じた地域の皆様との交流や地元の良質な素材を取り入れた親しみやすい商品の展開、地元高校の酒造り実習の支援を進め、古代米や麴、酒造りの神々が宿る三豊・観音寺の地で、「酒を楽しむ文化」を地域の皆様と育てていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに国際社会が達成すべき目標。持続可能な社会を実現するための17の目標、169のターゲットで構成されています。

【別紙】

「百十四 SDGs 取組支援サービス」について

○サービス概要

取扱店	全店
対象	当行と取引のある法人のお客さま
サービス内容	①SDGs への取組状況を評価し、結果をフィードバック ・「SDGs 取組状況チェックシート※」でお客様の SDGs への取組状況をチェックし、結果をフィードバック。 ②対外 PR 支援 ・必要に応じてお客様独自の“SDGs 宣言”の策定をサポート。 ・希望に応じて、当行より本サービス利用にかかるニュースリリースを実施。
利用手数料	110,000 円（消費税込）

※チェックシートの作成については、地元企業の SDGs への取組支援に賛同いただいた三井住友海上火災保険株式会社および MS&AD インターリスク総研株式会社に協力をいただいております。